

理解度確認テスト・消化器Ⅱ

氏 名 _____

問1. 大腸性下痢の特徴として正しいのはどれか。

- ① 1日あたりの排便回数は、健常時と変わらない。
- ② 脂肪便が見られることが多い。
- ③ 血液が混じるときは、黒色のタール便となる。
- ④ 粘液が混じることが多い。
- ⑤ 体重減少を伴うことが多い。

問2. パルボウイルス感染症発症時の血液検査において、一般に著しい減少がみられるのはどれか。

- ① TP
- ② PCV
- ③ Pt
- ④ RBC
- ⑤ WBC

問3. 胃拡張・胃捻転症候群について誤っているのはどれか。

- ① 大型犬に好発する。
- ② 食後の激しい運動が関与する可能性がある。
- ③ 緊急処置の必要な場合が多い。
- ④ 初期症状として空嘔吐がみられることがある。
- ⑤ 多くは内科的治療で治癒する。

問4. 栄養素の消化・吸収に関する記述として誤っているのはどれか。

- ① 小腸は食物の酵素消化と、消化に続く吸収を行う主要な部位である。
- ② タンパク質は消化酵素によってアミノ酸に分解される。
- ③ アミラーゼはデンプンを麦芽糖に分解する。
- ④ 吸収された脂肪は毛細血管に入り、門脈を介して肝臓に運ばれる。
- ⑤ 結腸では腸内容物から主に水分が吸収される。

問5. 生理食塩液は以下のどの輸液剤として分類されるか。

- ① 低張電解質輸液剤
- ② 等張電解質輸液剤
- ③ 高張電解質輸液剤
- ④ 血漿増量剤
- ⑤ 末梢静脈栄養輸液剤

問6. 犬パルボウイルス感染症に有効な消毒薬はどれか。

- ① 次亜塩素酸ナトリウム
- ② 70%エタノール
- ③ グルコン酸クロルヘキシジン
- ④ 逆性石鹼
- ⑤ イソプロパノール

問7. 下痢に関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① 大腸性下痢では一回当たりの糞便量は多量となる。
- ② 小腸性下痢では体重の減少を伴う場合がある。
- ③ 小腸性下痢ではしぶりが認められる。
- ④ 食事療法として消化器への負担が小さい低たんぱく食が選択される。
- ⑤ 大腸から出血した場合は黒色のタール便となる。

問8. 「タール便」に関して、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 水のような、ほぼ液状の便
- ② つまもうとするとつぶれたり、地面に痕が残るような便
- ③ 上部消化管からの出血により、黒っぽい色調となった便
- ④ 腸内の粘液が付着している便
- ⑤ 鮮血が付着している便

問9. 消化管疾患に関して、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 腸重積は、異物の誤食によって起きることが多い。
- ② 胃拡張(胃拡張-捻転症候群)は、小型犬に発生が多い。
- ③ 猫の巨大結腸症は、主に細菌感染によるものである。
- ④ 食道炎は、歯周病の細菌が関与して発症することがほとんどである。
- ⑤ 巨大食道症では、誤嚥性肺炎を併発することが多い。

理解度確認テスト・消化器Ⅱ 正答

問1. 大腸性下痢の特徴として正しいのはどれか。

- ① 1日あたりの排便回数は、健常時と変わらない。
- ② 脂肪便が見られることが多い。
- ③ 血液が混じるときは、黒色のタール便となる。
- ④ 粘液が混じることが多い。
- ⑤ 体重減少を伴うことが多い。

問2. パルボウイルス感染症発症時の血液検査において、一般に著しい減少がみられるのはどれか。

- ① TP
- ② PCV
- ③ Pt
- ④ RBC
- ⑤ WBC

問3. 胃拡張・胃捻転症候群について誤っているのはどれか。

- ① 大型犬に好発する。
- ② 食後の激しい運動が関与する可能性がある。
- ③ 緊急処置の必要な場合が多い。
- ④ 初期症状として空嘔吐がみられることがある。
- ⑤ 多くは内科的治療で治癒する。

問4. 栄養素の消化・吸収に関する記述として誤っているのはどれか。

- ① 小腸は食物の酵素消化と、消化に続く吸収を行う主要な部位である。
- ② タンパク質は消化酵素によってアミノ酸に分解される。
- ③ アミラーゼはデンプンを麦芽糖に分解する。
- ④ 吸収された脂肪は毛細血管に入り、門脈を介して肝臓に運ばれる。
- ⑤ 結腸では腸内容物から主に水分が吸収される。

問5. 生理食塩液は以下のどの輸液剤として分類されるか。

- ① 低張電解質輸液剤
- ② 等張電解質輸液剤
- ③ 高張電解質輸液剤
- ④ 血漿増量剤
- ⑤ 末梢静脈栄養輸液剤

問6. 犬パルボウイルス感染症に有効な消毒薬はどれか。

- ① 次亜塩素酸ナトリウム
- ② 70%エタノール
- ③ グルコン酸クロロヘキシジン
- ④ 逆性石鹼
- ⑤ イソプロパノール

問7. 下痢に関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① 大腸性下痢では一回当たりの糞便量は多量となる。
- ② 小腸性下痢では体重の減少を伴う場合がある。
- ③ 小腸性下痢ではしぶりが認められる。
- ④ 食事療法として消化器への負担が小さい低たんぱく食が選択される。
- ⑤ 大腸から出血した場合は黒色のタール便となる。

問8. 「タール便」に関して、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 水のような、ほぼ液状の便
- ② つまもうとするとつぶれたり、地面に痕が残るような便
- ③ 上部消化管からの出血により、黒っぽい色調となった便
- ④ 腸内の粘液が付着している便
- ⑤ 鮮血が付着している便

問9. 消化管疾患に関して、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 腸重積は、異物の誤食によって起きることが多い。
- ② 胃拡張(胃拡張-捻転症候群)は、小型犬に発生が多い。
- ③ 猫の巨大結腸症は、主に細菌感染によるものである。
- ④ 食道炎は、歯周病の細菌が関与して発症することがほとんどである。
- ⑤ 巨大食道症では、誤嚥性肺炎を併発することが多い。